

『主への真実と純潔を守れ』 コリント人への手紙第二 11章1～15節 2016.8.7(聖日礼拝説教より)

『…あなたがたは、世にあつては患難があります。しかし、勇敢でありなさい。わたしはすでに世に勝ったのです。』ヨハネ 16:33
パウロは神の熱心さをもってコリント教会を愛し(2節)、3つの警告を告げた。

◆第一は、イエス様への純潔を守ること！偽りの教師の目的は、教会を神の愛とキリストの福音から引き離すこと。エバを誘惑し、蛇の言葉に従わせ、人を神から引き離れた悪魔は今も働く！やがて再臨の時、はたして地上に正しい信仰が見られるだろうか(ルカ 18:8)！私たちが、世の罪汚れ、悪魔の誘惑から聖く守るにはどうすれば良いのか？それは唯、イエス様への信頼と感謝さえあれば良い！聖書が私たちを「キリストの花嫁」と呼ぶとき、イエス様と私たちは一つに結ばれる！この方こそ、私たちを世の悪・汚れから聖く守ることができる唯一のお方。

◆韓国でのある迫害時、多くの大人の信徒がキリストの絵を踏んで命乞いをする中、ある少女が「この絵は、私を愛し、私のために命を捨ててくださった方の絵…たとえ絵であろうと私は踏めない」と絵を抱きしめ、銃殺を覚悟した時、驚くべき奇跡が起きた！激しい苦難の時、イエス様への真実な愛と信頼こそが、その人を固く立たせることができる！

◆第二に、世の偽りに騙されないこと！偽教師は、『別のイエス・異なった霊・異なった福音』を伝えた(4節)。偽りを見抜く唯一の基準は聖書！宗教改革者ルターは、若くして修道士になり、「善行こそ救いへの道」と説かれ、祈り続け、捧げ続け、救いと確信を必死に求めるも、頑張るほどに確信は遠く「まだダメだ、まだ足りない…」と不安が募った…。しかしある日、「義人は信仰によって生きる(ローマ 1:17)」との御言葉が心に迫り、「信じるだけで救われる」との真理に立ち戻る事が出来た。偽りの教えは教会の内外から来る！素直に聖書を読み、イエスの御声に従う時、世の偽り・汚れ・過ちを見抜き、正しい道に立ち返ることができる！

◆第三は悪魔に騙されないこと！悪魔が『キリストの使徒・光の御使い・義のしもべに変装(13～15節)』し、いかにも優しく親切に、御利益を掲げて人々を信仰へ導き、やがて疲れさせ、失望させ、信仰を捨てさせる！本当の救い(福音)とは、人生にあらゆる悩み、激しい試練や苦しみがあるにも関わらず、神が打ち勝つ力と知恵を与え、助け手を備え、患難を乗り越える「逃れの道」を用意してくださること！もっと祈り、もっと頑張り、もっと捧げれば、患難は消え去るとの悪魔の声を惑わされず、最悪の中に最善を備えられる神を信頼したい！

★今週、あらゆる患難と正しく向き合うために、御言葉に親しみ、ただ主を素直に信頼し、力と知恵と助けをいただき、打ち勝たせていただこう！